



# ニュース

富士宮歩け歩け協会

## 2000 - 8

事務局 ☎418-0065

富士宮市 中央町16-1

富士宮市観光協会内

富士宮歩け歩け協会

TEL 0544-27-5240

FAX 0544-26-0066

### 残暑お見舞い 申し上げます。



### 掛川歩こう会創立10周年記念式典に参加して!

会長 日原 章

たかが歩き、されど歩き・・・の10年。岩崎会長の気の入れ方も相当のものだが、集まった会員の生き生きと若々しい雰囲気にも感じ入った。岩崎会長と会ったのはこの春に県内歩会の連絡統一への会合の折だから未だ近々だが毎月分厚い広報を送ってくれるし、式典案内も再三に及んでいる。そして会の運営にも、文化の香りを漂わせながら理想と夢を掲げて見事なものでした。来賓の顔ぶれも、日歩協の田中新会長、木谷専務理事、棒村掛川市長、議長、教育長、商議所会頭、越後糸魚川塩の道を歩く会会長、群馬県歩会名誉会長、長野県歩協副会長、三河歩会会長、そして県内富士宮、東静岡、熱海でした。如何にも幅広い活動の様子が解ります。そして市長の祝辞も歩く文化として沿道の歴史を掘り下げ、自然環境について生涯学習を深め、そして、掛川市提唱の太平洋と日本海を結ぶ塩の道を、21世紀の生涯学習街道にする運動を展開し、350kmを通し看板や立て札を立て史跡名勝を顕彰したとある。

歩くことはおしゃべりしながら出来る唯一のスポーツだとか、管理しない管理されない自己責任の徹底による個々の尊重とか、「年たけてまた越ゆべしと思いきや、命なりけり小夜の中山」西行法師の38才と69才の中山峠越えにちなみ「命なりけりウオーク」計画等、日坂宿おこし運動や、道の駅運動に結び付け「環境歩行文化都市宣言」の発信に期待するとある。究極の生涯学習「一世紀一週間人生」即ち一世紀元気に生きて寝込んだら一週間でさよならするという人生を、歩こう会の人達は実現に向かっているというのである。これは市長の祝辞の一端だが、掛川歩会の常に強調していることなので、驚きました。これは、常に掛川歩会と市行政が表裏一体で行動してきたことに外ならない。

私は直に、良いところは、見習わせてもらいますよと、礼状を書きました。最後に表彰があり2名が表彰された。一人は、歩会の創設者(前会長)もう一人は広報編集者でした。10年間、会報を発行し連絡と主旨の広報に務めたと言うことでした。ちなみに今年のアルコロジーとして日蘭交流400周年記念事業《緑の精神回廊》和蘭陀カピタン掛川城登城ウオークを予定しているとか、その他オランダ留学の想いで、日蘭親善ウオークのこと、オランダ、ナイメイヘンでのフォーデーマーチ参加記事、オランダの魅力、等々についての記事が綴られ会報となって会員に郵送されている。